再ビ痘瘡ノ微生物學的診斷ニ就テ

神奈川県中央衛生試験所 (主任 渡邊 逸博士)

星 野 貫

Kwan Hoshino

和 田 保 之

Yasujuki Wada

(昭和15年2月12日受付)

【内 容 抄 録】

2例ノ痘毒患者ノ Pustelinhalt ラ以テ, Elementarkörperchen, Paulsches Phänomen, Guarnierische Körperchen ノ3者ニ就キ微生物學的檢索ヲ試ミタル成績ヲ報告セントス。

目 次

緒 言	第2章 検査成績
第1章 検査事項並ニ検査材料	結 論
第1節 検査事項	引 用 書
第2節 検査材料	附圖解説

緒 言

近時滿支トノ交通日々ニ増加シ, 内地ガ痘瘡ニ汚染セラルル機會多キニ至レリ。コノ場合先ヅ痘瘡ノ臨床診斷ヲ的確ニスルト同時ニ, ソノ系統調査ノ嚴密ヲ期スルコトハ極メテ肝要ナル事項ナリトス。然レ共種痘法ノ勵行セラレラル今日, 假令痘瘡ガ内地ヲ浸害シタル場合ト雖モ, 臨床上定型ナル症例ヲ見ルコトハ極メテ稀有ニシテ, 多クノモノハ假痘ニ近似スル非定型ノ症狀ヲ呈シ, 臨床上ノ確診ハ容易ノ業ニ非ルナリ。ココニ於テ痘瘡ノ微生物學的診斷ヲ可急ノ速ニ行フコトハ防疫上實ニ肝要ナル事項ナリトス。

去ル昭和9年, 神奈川県下ニ30有餘名ノ痘瘡患者發生シ, 近時稀ニ見ル慘事ヲ惹起シタルハ未ダ吾人ノ記憶ニ新ナルトコロニシテ當時, 當所ニ於テ渡邊博士指導ノ下ニ, 村野, 石橋兩氏ハ之ガ詳細ナル検査成績ヲ報告セリ。最近余等ハ川崎市ニ於テ1例, 外國船ヨリ移送セラレタル1例, 都合2例ノ痘瘡患者ニ遭遇シ, 微生物學的檢索ヲ行ヒタルヲ以テココニ報告セントス。

第 1 章 検査事項並ニ検査材料

第 1 節 検査事項

余等ハ(1) Elementarkörperchen (*Paschensche Körperchen*), (2) *Paulsches Phänomen*, (3) *Guarnierische Körperchen* ノ3者ニ就キ實驗ヲ行ヒタリ。ソレガ詳細ハ村野, 石橋兩氏ノ論文ニ詳述セラレアルヲ以テ, 茲ニ記載ヲ省略ス。

第 2 節 検査材料

余等ガ實驗ニ使用シタル材料ハ, 2例ノ痘瘡患者ノ Pustelinhalt ニシテ, ソノ病歴ヲ第1表ニ示ス。コノウチ第1例ハ外人ニシテまにらヨリ香港, 神戸ヲ經テ横濱ニ廻航中發病シタルモノニシテ, 第2例ハ發病數日前支那ヨリ歸來セルモノナリ。第3例ハちふてりーニテ横濱市立萬治病院ニ收容中, 水痘ヲ併發セルモノニシテ, 對照トシテ檢索ヲ行ヒタルモノナリ。

第 1 表

患者番號	姓 名	發 病	臨床診斷	材料採取日	接 種 日	轉 歸
1	H. Rugglus	昭14. 2. 3	假 痘	昭14. 2. 12	昭14. 2. 12	全 治
2	飯 村	昭13. 12. 30	假 痘	昭14. 1. 8	昭14. 1. 8	全 治
3	金 澤	昭14. 3. 1	水 痘	昭14. 3. 5	昭14. 3. 5	全 治

第 2 章 検査成績

(1) Elementarkörperchen oder *Paschensche Körperchen*. 清淨ナルおぶえくとぐらすニ, Pustelinhalt ヲ採リ, 種痘針ヲ以テ壓ヲ加ヘツツ丁寧ニ塗布シ, 空氣中ニ於テ乾燥セシメ, 渡邊氏第2法ヲ以テ染色セリ。即チ之ニヨリテ得タル標本ハ附圖 Nr. 1 ニ示スモノニシテ, 所謂 Paschen 氏ノ Elementarkörperchen ヲ無數ニ證明シ, 2例共ニ美麗ナル標本ヲ得タリ。併セテぎむざ氏法ヲ以テ48時間染色セルモノハ附圖 Nr. 2 ニ示ス如キ像ヲ得タリ。對照トシテ試ミタル水痘患者材料ニ於テハ陰性ニ終レリ。

(2) *Paulsches Phänomen* 食鹽水ヲ以テ Pustelinhalt ヲ稀釋シ, 家兎角膜ニ注射セリ。24時間, 48時間, 72時間後ニ於ケル症狀ハ第2表ニ表スガ如シ。第2例ノ材料ヲ以テセル48時間後ニ於ケル潰瘍像ヲ附圖 Nr. 3 ニ示ス。

第 2 表

患者 番 號	家兎眼球	材 料	2 4 時 間 後	4 8 時 間 後	7 2 時 間 後
1	右	Pustelinhalt	結膜炎(+), 鞏膜 炎(+), 角膜表面 = 點狀隆起物	炎症増加ス, 直徑 2ミリ大圓形潰瘍	潰瘍直徑3ミリ
	左	" "	結膜炎(+), 鞏膜 炎(+), 角膜表面 濁ス	炎症増加ス, 粟粒 大潰瘍2個	粟粒大潰瘍2個
2	右	" "	結膜炎(+), 鞏膜 炎(+), 角膜表面 濁ス	炎症増加ス, 點狀 潰瘍數個	2ミリ大潰瘍ヲ認 メ數個ノ點狀潰瘍 アリ
	左	" "	結膜炎(+), 鞏膜 炎(+), 角膜著變 ナシ	炎症増加ス 點狀隆起物1個	角膜全面=凹凸ア リ, 點狀潰瘍1個
3	右	" "	著變ナシ	結膜稍充血ス, ソ ノ他著變ナシ	角膜=隆起ヲ認メ ズ
	左	Kruste	著變ナシ	著變ナシ	著變ナシ

(72時間後ノ所見ハ眼球ヲ剔出シ Paul 氏液ニ投入後ノ所見ナリ)

(3) Guarnierische Körperchen (G. K.) 渡邊博士ハ好シ健康部ト欠損部トノ境界ニ觀察セラルト記載サレタリ。余等ノ標本ニ於テモ又良ク氏ノ記載ニ相一致セル所見ヲ呈セリ。即チ附圖 Nr. 4 ニ示スガ如シ。

結 論

以上ノ検査成績ヨリ余等ハ次ノ如キ結論ヲ述ベントス。

- 1) Elementarkörperchen ノ検索ハ材料採取後1時間以内ニソノ成績ヲ判定シ得ル早期診斷方法ナリ。
- 2) Paulsches Phänomen ハ材料接種後24時間ニシテ觀察シ得ル極メテ重要ナル診定方法ナリ。
- 3) G. K. ノ檢出ハ前二者ニ比スレバ更ニ時間ヲ要シ早期診斷ニハ不便ナリ。
- 4) 痘瘡患者ノ診斷ニ際シテ, 臨床診斷ヲ以テ適確ナル判定ヲ下シ得ザルモノニ於テハ微生物學的検査ヲ行フベキモノトス。

終リニ臨ミ, 御懇篤ナル御指導ト御校閲ヲ賜ハリシ恩師渡邊博士ニ満腔ノ謝意ヲ捧グト共ニ, 多大ノ御援助ヲ賜ハリシ尾崎學士ニ深謝ス。

主 要 引 用 書

- 1) H. Watanabe, Beiträge zur Färbung der Paschenschen Körperchen (Elementarkörperchen). Zentralbl. f. Bakt. etc. Orig. 1930. Bd. 116.
- 2) E. Gildemeister und

星野・和田論文附圖

附圖 Nr. 1.

附圖 Nr. 2.

附圖 Nr. 3.

附圖 Nr. 4.

H. Watanabe, Zur Bestimmung kleinster Mengen von Diphtherietoxin und Diphtherie-
antitoxin. Zentralbl. f. Bakt. etc. Orig. 1930. Bd. 117.

3) H. Watanabe, Ueber
Einschlusskörperchen bei Herpes simplex. Zentralbl. f. Bakt. etc. Orig. 1930. Bd. 116.

4) H. Watanabe, Ueber die Bildung unspezifischer Zelleinschlüsse in der Kaninchen-
hornhaut. Zentralbl. f. Bakt. etc. Orig. 1930. Bd. 119.

5) E. Paschen, Pocken,
Handbuch der Pathogenen Mikroorganismen Dritte, erweiterte Auflage, achter Band. 1930.

6) 村野康一, 石橋卯吉, 昭和9年1月神奈川県下ニ勃發セル痘瘡患者ノ微生物學的診斷ニ就テ.
東京醫事新誌, 第2870號, 昭和9年.

附 圖 解 說

附圖 Nr 1. Paschensche Körperchen. 渡邊氏第2法ニヨル染色. 材料 H. Ruggius Vergr.
ok 4×2mm.

附圖 Nr 2. Paschensche Körperchen きむぎ氏染色法. 材料, 飯村. Vergr Ok 4×2mm.

附圖 Nr 3. Paulsches Phänomen. 材料, 飯村. 48時間後所見.

附圖 Nr 4. Guarnierische Körperchen. Hornhautschnitt, 72 std. 材料, 飯村. Vergr Ok
4×2mm.